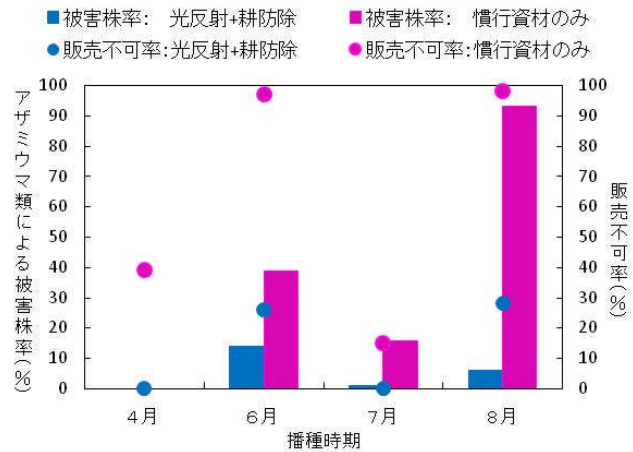


光反射を使って病害虫を抑える

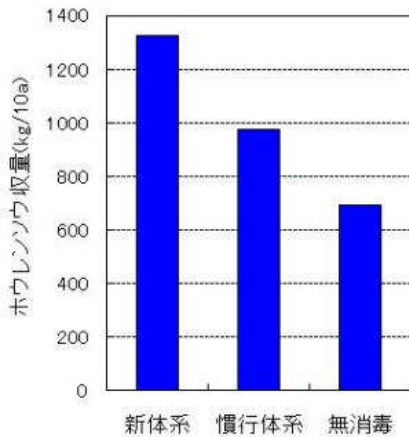
コマツナ、ホウレンソウのハウス栽培において、光反射資材等を利用した減農薬栽培技術を開発しました。アザミウマ類によるコマツナへの被害は、光反射資材をハウス外の地面やサイドの開口部に張ることで軽減できます。また、夏季栽培のホウレンソウで問題となる立枯性病害は、光反射資材のマルチ・遮光利用により軽減でき、生育も促進されます。さらに夏季の栽培では、光反射資材と太陽熱消毒などの耕種的防除法を併用することで、光反射資材を単独で利用した場合よりも、病害虫の発生をより効果的に抑えることができます。



光反射資材をハウスサイド及び地表へ展張した様子



光反射資材と耕種的防除法を組み合わせると、コマツナへのアザミウマ類による被害が軽減しました。



夏期のホウレンソウ栽培では、光反射資材のマルチ・遮光利用と太陽熱消毒を組み合わせた新栽培体系は立枯性病害や雑草害を抑制でき、さらに地温を下げる効果で生育が促進され高い収量が得られます。



無消毒（白黒ダブルマルチ）



新体系（光反射マルチ）